テーマ：海の生き物

源氏前保育園　対象年齢：５歳児

活動名：水族館に行こう

活動のねらい：海の生き物について意見を出し合い、水族館に行くことに期待をもち、楽しむ

用意した環境

画用紙、折り紙、色鉛筆、図鑑、水族館のパンフレット、遠足のしおり

活動内容

海の生き物について、４～５名の５歳児と担任で話をする。水族館で、観察したり疑問に思ったことを聞いたりして楽しむ。

子どもたちの様子

春に作った海の作品を振り返り「本物を魚屋さんで見た」「水族館で見た」という話から「魚って寝るのかな」「水族館を作りたい」と話を膨らませていた。水族館では知りたい魚を追いかけてじっくりと観察したり、飼育員さんに質問したりして興味を広げていた。

保育者の振り返りと気づき

春、５歳児の行事をきっかけに普段から海の生き物について興味をもっていた。すでに知っていることも多く会話を弾ませていたが、“まだ知らないことがある、図鑑じゃわからない”と子どもたち自身が気付き、“もっと知りたい”という思いが育っていった。水族館では、疑問に思ったことを飼育員さんに聞き、飼育の仕方から命の大切さ、生き物の生きる様を感じ、それぞれが学びを得ていた。

活動名　移動水族館を楽しもう

活動のねらい：海の生き物に触れて、感触の違いや特徴に気付く

用意した環境

タッチングプール、業者の方への質問コーナー

活動内容

貝やエイ、ネコザメなどの海の生き物に触れたり、海の生き物についての疑問を答えてもらったりする。

子どもたちの様子

図鑑で見て知っていた生き物を見つけて、名前を言いながら喜んで触れていた。持ち上げることで重さを感じたり、ヒトデの表面が固いことなど感触の特徴に気付いたりなどしていた。保育室から図鑑を持って行き、生き物の種類を調べる姿もあった。

保育者の振り返りと気づき

今まで図鑑や水族館で見ていた生き物に触れたり、近くで観察したりすることで、海の生き物への関心がさらに高まっている様子があった。違いに気付いたり、特徴を発見したりすることで新たな疑問が生まれ、もっと知りたいという探求心が育まれていた。また、今まで海の生き物について知るなかで生まれた疑問に、専門の方から答えてもらうことで、さらに興味を深めることができた。

活動名　きりん組の水族館を作ろう

活動のねらい：水族館に行ったり海の生き物に触れたりして経験したことを、様々な素材を使って表現する

用意した環境

カラーポリ、画用紙、折り紙、ガムテープ、テグス、水槽、スズランテープ、段ボールなど

活動内容

水族館をイメージし、自分なりの表現で海の生き物を製作し、ホールに展示する。水族館で給食を食べる。

子どもたちの様子

一年間で経験したことを、様々な素材を使って表現しながらイメージを膨らませていた。実際に水族館に行ったことで円形の水槽や深海コーナーを作るなどのアイディアが子ども達から出ていた。完成した水族館を保護者と一緒に見て、褒めてもらうことで達成感につながっていた。夢が広がり、水族館で食事を食べることになると、さらに想像の世界を楽しむ姿があった。

保育者の振り返りと気づき

展示場所や内容を子ども達と相談し、一緒に進めていく事で子ども達のイメージがどんどん膨らんでいくのを感じた。深海コーナーや円形の水槽、たっちんぐぷーるなど、実際に体験しなければ出なかったであろうアイディアがたくさん出てきていて、経験の大切さを感じた。また、水族館で給食を食べたいと子どもたちから声があがり、水族館レストランをし、主体的な姿につながった。

活動名　かわちゃんに教えてもらおう

活動のねらい：海の生き物についての話を聞いたり絵の描き方を教えてもらったりして生き物の不思議さや面白さを感じ、興味を深める。

用意した環境

椅子、テーブル、プロジェクター、スクリーン、アンプ、画用紙、鉛筆、色鉛筆、消しゴム

活動内容

３～５歳児が海の生き物クイズに参加し、質問コーナーを設ける
５歳児のみ、海の生き物お絵かきコーナーで実際に絵を描くことを楽しむ

子どもたちの様子

海の生き物クイズでは、自分たちの知っている魚が出てくると、元気に手を挙げて答えていた。クイズに正解すると、声を出して喜んでいた。お絵かきコーナーでは、かわちゃんの話をよく聞き、スクリーンを見ながら描くことを楽しんでいた。

保育者の振り返りと気づき

今まで水族館に行ったり、タッチングプールなどを経験し、魚についてたくさんの知識を得ていたが、更にかわちゃんというさかな博士に出会うことで、まだまだ知らないことがあり、楽しい話を聞くことができ、増々海の生き物が好きになった。集会後も、自分たちで、好きな魚を描いたり、かわちゃんに教わっていない魚を描いたりして楽しんでいた。